

平成 28 年度 事業計画

当協会は、公益財団法人へ移行後 4 年目を迎えることとなるが、今後も新公益法人制度の下での適切な事業運営に努めるものとする。

平成 28 年度においては、引き続き畜産、乗馬及び地方競馬に必要な機械施設等の導入への支援等により、畜産経営の近代化及び畜産物の生産流通の改善合理化等を図り、その安定的な供給に資するとともに、乗馬の普及及び地方競馬の振興に資することとし、貸付需要の動向等に的確に対応しつつ、公益目的事業として次の事業を実施する。

1. 畜産関係施設貸付事業 事業費 4,500 百万円 (前年度 4,500 百万円)

畜産経営の近代化及び体質の強化を図り、併せて畜産物の供給を担う畜産農家等の健全な発展を通じて高品質で安全な畜産物の安定供給に資するため、低廉なリース方式により畜産関係機械施設等の貸付けを行う。

なお、国の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を活用し、この事業の要件を満たすものについては、本貸付事業において畜産農家等の負担を一層軽減した貸付けを行うこととする。

(1) 飼料生産利用施設貸付

草地の造成整備及び飼料作物の生産を促進するため、草地造成用機械施設及び自給飼料生産利用機械施設を貸し付ける。

事業費 2,222 百万円 (前年度 2,222 百万円)

(2) 家畜家きん飼養管理施設貸付

生乳の生産流通の合理化と乳質の改善向上、家畜家きんの飼養管理及び衛生管理の改善向上を図るため、搾乳施設、生乳冷却貯蔵施設、生乳検査機械、精液保管等施設、畜舎環境改善機械施設、中小家畜管理機械施設を貸し付ける。

事業費 2,010 百万円 (前年度 2,010 百万円)

(3) 家畜畜産物流通施設貸付

家畜市場機械の近代化、食肉、食鶏及び鶏卵の処理加工、流通の合理化を図るため、家畜市場機械施設、食肉食鶏及び鶏卵の処理流通機

械施設を貸し付ける。

事業費 261百万円 (前年度 261百万円)

(4) 特認機械施設貸付 (その他機械施設貸付)

上記のほか、畜産振興上特に必要と認める機械施設を貸し付ける。

事業費 7百万円 (前年度 7百万円)

2. 乗馬施設貸付事業

乗馬の普及を促進するため、乗馬クラブで使用する簡易式厩舎、馬運搬車、馬具等の乗馬施設を貸し付ける。

事業費 165百万円 (前年度 165百万円)

3. 地方競馬用施設貸付事業

地方競馬の振興を図るため、レース情報表示装置、投票券発払機、作業用機械等地方競馬主催者の事業運営に不可欠な機械施設を貸し付ける。

事業費 2,500百万円 (前年度 2,500百万円)

4. 調査研究及び普及啓発等事業

(1) 調査研究事業

畜産及び馬事の振興に資するため、畜産経営におけるクレーンシステム堆肥化处理装置の効果確認実証試験、馬の調教におけるテントドーム型覆馬場の活用についての調査研究を行う。

事業費 10百万円 (前年度 10百万円)

(2) 馬事・畜産活性化推進事業

馬事及び畜産の活性化に資するため、地方競馬における認定競馬活性化計画を補完する事業及び馬事・畜産の普及啓発を推進する事業に対して助成を行う。

事業費 10百万円 (前年度 10百万円)